

第2回てだこサンサン杯 第63回那覇地区春季中学校軟式野球大会要項

1. 主催 てだこサンサン共同企業体・沖縄県野球連盟
2. 主管 沖縄県野球連盟那覇支部
3. 期日 令和5年4月22日(土)、23日(日)、29日(土)、30日(日)
4. 会場
- | | | |
|--------------|---------------------|--|
| 令和5年4月22日(土) | 8:30(リーグ戦) | 金城中学校、城北中学校、仲井真中学校、神森中学校、仲西中学校、鏡原中学校、浦添中学校、ANAボールパーク浦添 |
| 令和5年4月23日(日) | 8:30(リーグ戦・第8シード決定戦) | 金城中学校、城北中学校、仲井真中学校、神森中学校、仲西中学校、鏡原中学校、浦添中学校、ANAボールパーク浦添 |
| 令和5年4月29日(土) | 8:30(決勝トーナメント・準決勝) | ANAボールパーク浦添、仲西中学校 |
| 令和5年4月30日(日) | 9:00(決勝) | ANAボールパーク浦添 |
5. 参加資格
- (1) 那覇地区中体連加盟校に加盟している学校の生徒であること。
 - (2) 学校長が選手として本大会に出場を許可したものであること。
 - (3) **1チームは、選手25人、記録員2人、監督1人、コーチ2人の計30人とする。**
※但し合同チームに関してはその限りではない(監督・コーチは最大4名以内とする。)
 - (4) 選手の引率は、出場校の校長・教員とする。監督については校長・教職員(常勤)とする。教職員以外のコーチについては、学校長の認めた者で、地区・県に登録された者とする。但し、ベンチ入りについては1名のみとする。
 - (5) 硬式ボールを使用球としている団体に所属しているチームとその構成員の出場は認めない。
 - (6) 参加資格の特例を認める。「開催基準8(6)複数合同チーム」(県に準ずる)
 - (7) 那覇地区中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。校長はこの点を確認して、大会申請書を作成する。なお、外部指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
6. 企画運営責任者 那覇地区中体連野球専門部
7. 競技規則 2022年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟特別競技規則、大会細則を適用する。
投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、下記の通りとする。
・大会中の1日の投球制限・・・100球
・1週間の投球数・・・350球
※試合中、規定投球数に達した場合、その打者の打撃中に攻守交代となるか打撃を完了するまで投球できる。
8. 大会規定
- (1) 競技方法は準々決勝まではリーグ戦としそれ以降はトーナメント方式で行う。
 - (2) 試合は7回戦とし、得点差によるコールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差とする。(なお、決勝戦にも適用する。)また、日没、降雨のコールドゲームについては全試合5回以降成立とする。
日没・降雨などで試合が成立しない場合は、特別継続試合を適用する。(サスペンデッドゲーム)
 - (3) 試合が7回を終了して同点の場合は8回からタイブレーク方式(特別延長戦無死1、2塁)を行い、10回までに決着がつかない場合は抽選を行う。(決勝戦の場合は、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまでタイブレーク方式を続行する。)
9. 使用球 全日本軟式野球連盟公認内外ボールM号球とする
10. 組み合わせ
- (1) 令和5年3月23日に本部抽選済み。4月14日(金)の監督会時に抽選結果を公表する。
 - (2) 抽選は、野球専門部で行う。
11. 表彰
- (1) 優勝チームには優勝旗及び賞状、準優勝チームには準優勝杯及び賞状、3位のチームには賞状を与える。また、個人賞として、殊勲賞・敢闘賞・打撃賞を表彰する。
 - (2) 個人賞は決勝進出校から選出する。また、打撃賞に関しては規定打席(1試合×2打席以上:準決勝から決勝戦までとする)に達している選手で、1人を選出する。
12. 参加申し込み
- (1) 大会参加申込用紙は那覇地区中体連野球専門部HPからダウンロードし、必要事項を入力し、プリントアウトしたものに学校長の捺印を受け、原本1部とコピー4部を**当日球場長**に提出する。
球場長は、原本1部とコピー4部の右上に提出した日付、サインをして、コピー3部は監督に返却する。
 - (2) **大会参加料10,000円を支払う。5月の中体連専門部会の時に徴収します。**
13. その他
- (1) チームの責任は、引率者において、一切負うものとする
 - (2) 4月14日(金)17時30分から、**監督会をzoomで行うので、監督1名は必ず参加する。**
(参加できない場合は、代理を立てること。)
 - (3) 今大会の勝者にはポイントを与える。ベスト8=2P ベスト4=3P 準優勝=4P 優勝=5P

第2回てだこサンサン杯 第63回那覇地区春季中学校軟式野球大会細則

- 1. 試合時間**
 - (1) 試合は1時間30分と計算し、その60分前までには集合する。
 - (2) 連続試合の場合は間隔を30分とする。
- 2. オーダー交換**
 - (1) オーダー用紙は大会本部の用紙を使用する。(4部提出)
 - (2) 攻守決定は、前の試合の4イニング終了時(第1試合は試合開始45分前)に監督立ち会いの上、主将が行う。但し、連続試合で先発投手が主将の場合は、登録メンバーから代理を認める。
- 3. ダックアウト**
 - (1) 抽選番号の若い方が1塁側とする。但し、同一チームが連続して試合を行う場合は移動しない。登録された監督、コーチ、選手、記録員以外のベンチ入りは禁止する。
 - (2) ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止。
 - (3) ダッグアウト内でのメガホン使用は監督、コーチのみとする。(ベンチ内1個とする。)
- 4. シートノック**
 - (1) シートノックは、全試合後攻より行う。時間は5分間とする。
 - (2) シートノック時のみ、登録外の補助員(5名以内)を認める。なお、ユニフォーム、ヘルメットを着用すること。
 - (3) ノッカーは、ユニフォームを着用する。
 - (4) 1日で2試合を行うチームは、シートノックを1試合目のみ行う。なお、天候などにより球場を移動して試合を行う場合は、本部に確認の上、シートノックを行う場合もある。
※天候の理由でシートノックを行わない場合もある。
- 5. 応援**
 - (1) コロナ感染拡大防止の為大きな声を出しての応援は慎む。(太鼓・鳴り物は禁止)
 - (2) 今大会、有観客試合とし、保護者・控え部員を含めた人数は制限しないとする。ただし、感染症対策を十分に行うこと。
 - (3) 会場入りする名簿を作成する。その名簿は、試合終了後、本部に提出すること。チームで万が一感染症が発生した場合調査ができるように、大会終了後、専門部長で保管する。
 - (4) 応援する保護者・控え部員は、ネックストラップ型の指定されたID(校印付き)の着用を義務づける。
- 6. 守備側と攻撃側のタイムの回数制限**
 - (1) 捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は、7イニングで3度以内とする。なお、延長戦(特別延長戦も含む)となった場合は、2イニングに1度行くことができる。また、攻撃側についても同様とする。
- 7. 監督が投手の所へ行く回数の制限**
 - (1) 監督が1試合に投手のところへ行ける回数は、7イニングで3回以内とする。なお、タイブレーク方式となった場合は、毎イニングに1回行くことができる。
 - (2) 監督が同一イニングに同一投手の所へ2度目に行くか、行ったとみなされた場合は、投手は自動的に交代しなくてはならない。なお、他の守備についたときは、同一イニングには再び投手には戻れない。
- 8. 用具**
 - (1) バットリング、トレーニングバット、スプレー(滑り止め)の使用を禁止する。(但し、マスコットバットは使用可)
 - (2) 手袋・リストガードは、原則として「白」または「黒」を主にした高校野球対応の手袋を使用する。
 - (3) ストッキングの形をしっかりと統一する。
 - (4) 全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が完全に消えた用具は使用できない。
 - (5) 捕手は全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が入った捕手用ヘルメット・マスク・スロットガード・プロテクター・レガースとファウルカップを使用すること。また、打者・走者・次打者・ベースコーチ・バットボーイは全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が入った両側にイヤラップ(内側にはスポンジ等)のついたヘルメットを使用すること。
- 9. 試合のスピード化**
 - (1) 打者・次打者・ベースコーチの4名は攻撃前のミーティングには参加せず、所定の場所に移動すること。
 - (2) 打球を受けた捕手は、速やかに投手に返球すること。
 - (3) 捕手から返球を受けた投手は、速やかに投手板を踏んで打球姿勢をとること。(ランナー無し・・・12秒以内に打球、ランナー有り・・・20秒以内に打球 ※詳細は競技者必携にて確認)
 - (4) **次打者席では、投手が打球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。投手も必ず次打者席に入ること。**
 - (5) サイン交換は迅速に行うこと。打者はバッターボックス内でサインを見る。
- 10. その他**
 - (1) 背番号は1～25番を使用し、原則としてポジション順とする。
 - (2) チームの選手(監督・コーチ含む)は同色、同形のユニフォームを着用する。グラウンドコートも同様とする。尚、監督・コーチのシューズについても同色とする。コーチ(教職員)の服装は平服でもよい。また、記録員はユニフォームか制服とする。
 - (3) 選手交代は、監督が球審に告げること。
 - (4) 球場内においての試合前の練習はユニフォームを着用すること。
 - (5) 芝生保護のため各球場において正規のシートノック以外はスパイク以外で行うこと。
 - (6) 球場内のバッティング練習は、バント・トスバッティング(1対1)までとする。
 - (7) 試合中のアップ(キャッチボール)については2組(4名以内)とする。
 - (8) ランナーズコーチ・アップ2組及び投手が走者で塁に出た場合は、グラウンドコートを着用してもよい。
 - (9) 審判は各校からできるだけ成人4名とする。厳しい場合は3年生の野球部員で行う。球審は成人で行う。
 - (10) 準々決勝からは那覇地区中体連野球専門部職員で行う。
 - (11) 各チームのゴミは必ず責任を持って持ち帰る。最終試合の両チームは、ダッグアウト、スタンドを清掃する。